Data Wrangling

with pandas
Cheat Sheet

http://pandas.pydata.org

文法 – DataFrameの作成

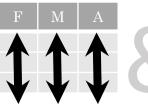
	2	5	8	11	
	3	6	9	12	
df = pd.	DataF	rame(
-		" : [̈́4	1,5,	6],	
	"b	":[7	7, 8,	9],	
	"с	" : [1	L0, 11	, 12]	},
	index	= [1,	2, 3])	
各column	(列)の	値をセ	ットす	る	
df = pd.	DataF	rame(
[[4	, 7,	10],			
[5	, 8,	11],			
[6	, 9,	12]],			
ind	ex=[1	, 2, 3	3],		
		['a',	_	'c'])	
各row(行)の値を	セット	ゝする		

		а	b	С
n	v			
	1	4	7	10
d	2	5	8	11
е	2	6	9	12

メソッドチェーン

整然データ(Tidy Data) – pandasにおける議論の基盤

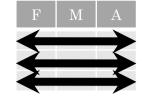
整然データ において:



各変数は自身の列に

保存されます





pandasは、あなたが変数を扱うがままに観測を保存します。他のどのフォーマットもpandasでは直感的に動きません。

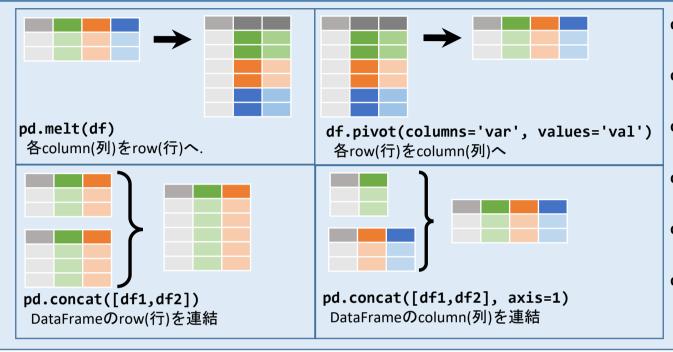
整然データはベクトル操作を補完する。



M * A

各observation は自身の行 に保存されます

データの整形(Reshaping Data) – データセットのレイアウト変更



df.sort_values('mpg') column(列)の値を使ってrow(行)をソート(昇順)

df.sort_values('mpg',ascending=False) column(列)の値を使ってrow(行)をソート(降順)

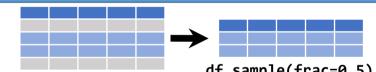
df.rename(columns = {'y':'year'})
DataFrameのcolumn(列)名を変更

df.sort_index()DataFrameのindexを使ってソート

df.reset_index()
DataFrameのindexをリセット

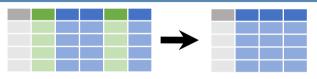
df.drop(columns=['Length','Height']) 指定した長さのcolumn(列)を削除

Observations(行)の一部を抜き出し



	Logic in Python (and pandas)			
<	より小さい	!=	等しくない	
>	より大きい	df.column.isin(<i>values</i>)	valuesが含まれているcolumn に場合trueを返す	
==	と等しい	pd.isnull(<i>obj</i>)	nullである	
<=	以下	pd.notnull(<i>obj</i>)	nullでない	
>=	以上	&, ,~,^,df.any(),df.all()	Logical and, or, not, xor, any, all	

変数(列)からの一部取得



df[['width','length','species']] 複数column(列)を列名を指定して取得 df['width'] or df.width 1つのcolumn(列)を列名を指定して取得 df.filter(regex='regex') column(列)を正規表現でフィルタリング

	regex (正規表現) の例
'\.'	ピリオド′′を含む文字列にマッチ
'Length\$'	末尾に'Length'のある文字列にマッチ
'^Sepal'	冒頭に'Sepal'のある文字列にマッチ
'^x[1-5]\$'	'x'で始まり且つ末尾が1~5のいずれかである文字列にマッチ
''^(?!Species\$).*'	Species'以外の文字列とマッチ

df.loc[:,'x2':'x4']
 x2からx4までの全てのcolumn(列)を取得
df.iloc[:,[1,2,5]]
 1,2,5番目(indexが5番目)の列を取得(indexは0から数える)
df.loc[df['a'] > 10, ['a','c']]
 与えられた条件に合ったrow(行)で且つ指定されたcolumn(列)を取得

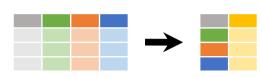
データの要約

df['w'].value counts() len(df) # DataFrameの行数を出力 df['w'].nunique()

ユニークな値をカウントして出力

df.describe()

Basic descriptive statistics for each column (or GroupBy)



pandasは様々な種類のpandasオブジェクト(DataFrame columns, Series. GroupBy, Expanding and Rolling(下記参照))を操作するsummary functions(要約関数)を提供し、各グループに対して1つの値を返しま す。DataFrameに適用された場合、結果は各column(列)にSeries型で返 されます。例:

sum() min()

各オブジェクトの値を合計 各オブジェクトの最小値を取得 count() max()

各オブジェクトのNA/null以外の値各オブジェクトの最大値を取得 をカウント

mean() median()

各オブジェクトの平均を取得

各オブジェクトの中央値を取得 var()

quantile([0.25,0.75]) 各オブジェクトの分散値を取得

各オブジェクトの分位値を取得 std()

applv(function) 各オブジェクトの標準偏差を取得

各オブジェクトにを適用

欠損データを扱う

df.dropna()

NA/nullを含むrow(行)を除外する df.fillna(value)

NA/nullをvalueに置換

新しいColumn(列)の作成



df.assign(Area=lambda df: df.Length*df.Height) 1つ以上の新たなcolumn(列)を計算して追加

df['Volume'] = df.Length*df.Height*df.Depth 新たなcolumn(列)を1つ追加

pd.qcut(df.col, n, labels=False) column(列)の値をn分割



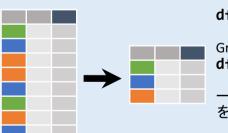
pandasはDataFrameの全てのcolumn(列)または選択された1列(Series型) を操作できるvector functions(ベクトル関数)を提供します。それらの 関数は各列(column)に対してベクトル値を返します。また、各Series には1つのSeriesを返します。例:

max(axis=1) 要素ごとの最大値を取得 clip(lower=-10,upper=10) 下限を-10,上限を10に設定してト

リミング

min(axis=1) 要素ごとの最大値を取得 abs() 絶対値を取得

データのグループ化



df.groupby(by="col") "col"列の値でグループ化した GroupByオブジェクトを返す df.groupby(level="ind") インデックスレベル"ind"でグル ープ化したGroupByオブジェクト を返す

上述した要約関数(summary function)は全てgroupにも適用可能 です。その他GroupByの関数:

size() 各グループの長さ

agg(function)

関数を使ってグループを集計

下記関数もgroupに対して適用できます。この場合、関数はグループ 毎に適用され、返されるベクトルの長さは元のDataFrameと同じにな ります。

shift(1) shift(-1) 1行ずつ後ろにずらした値をコピー 1行ずつ前にずらした値をコピー rank(method='dense') ランク付け(同数はギャップなしで計算) cumsum() rank(method='min') ランク付け(同数は小さい値にする) 累積和 cummax() rank(pct=True) 累積最大値 [0~1]の値でランク付け cummin() rank(method='first') ラング付け。同数の場合indexが小さい方累積最小値が上位 cumprod() 累積積

window関数

df.expanding()

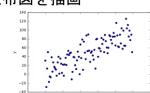
要約関数を累積的に適用可能にした Expanding オブジェクトを返す

df.rolling(n)

長さnのwindowに要約関数を適用可能にしたRollingオブジェクト を返す

プロット(描画)

df.plot.hist() 各列のヒストグラムを描画 df.plot.scatter(x='w',y='h') 散布図を描画



データの結合

adf x1 x2 A 1 2

C 3





標準的な結合

A B C	1 2 3	x3 T F NaN	pd.merge(adf, bdf, how='left', on='x1') bdfをadfのマッチする行へ結合
x1	x2	х3	pd.merge(adf, bdf,
Α	1.0	T	how='right', on='x1')
В	2.0	F	adfをbdfのマッチする行へ結合
D	NaN	T	
x1	x2	х3	pd.merge(adf, bdf,
Α	1	T	how='inner', on='x1')
			adf blodf 表切 モにも を 行か 11 時 1 ア 姓入
В	2	F	adfとbdfを双方にある行のみ残して結合
В х1	2 x2	F х3	pd.merge(adf, bdf,
x1	x2	хЗ	pd.merge(adf, bdf,
x1 A	x2 1	x3 T	pd.merge(adf, bdf, how='outer', on='x1')

フィルタリング結合

C 3

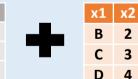
x1 x2 adf[adf.x1.isin(bdf.x1)] adfの中でbdfにマッチする行 A 1 B 2

> adf[~adf.x1.isin(bdf.x1)] adfの中でbdfにマッチしない行

> > zdf

vdf

x1 | x2 A 1 В В 2 C С 3 D



集合ライクな結合

x1 x2 В 2 C 3 **x1** Α

A 1

pd.merge(ydf, zdf) ydfとzdf両方にある行

pd.merge(ydf, zdf, how='outer') **x2** ydfとzdfの両方もしくは片方にある行 1 В 2 C 3 D 4

pd.merge(ydf, zdf, how='outer',

indicator=True) .query('_merge == "left_only"') .drop(columns=['_merge']) ydfにはあるがzdfにはない行